2023年5月15日

資料9-1

地域密着型サービス　様

地域密着型サービスにおける看取りの学習会のご案内

拝啓　時下ますますご清祥のこととおよろこび申しあげます。

　私どもは、たとえ認知症になっても「今いる場所で最期まで(エイジング・イン・プレイス）」を実現できる社会を望み、医療機関ではない介護事業所での看取りの実践に大きな期待を寄せて探究している研究グループです。

2014年から2019年の６年間にわたり、「宇部から発信　地域密着型サービスにおける終末期ケア・看取り」と題した研修を、宇部市において実施してまいりました。

コロナ禍での実施を模索し、2021年度から対象を拡大し、場所を選ばずに参加できるようにオンライン（zoom）でも実施を試みています。

この度、山口県宅老所・グループホーム協会との共催により、文部科学省の科学研究費の助成を受けて、2023年9**月16日（土曜日）**に第一回目、2024年3月9日**（土曜日）**に第二回目の研修を行います。ご多忙中のところ恐縮ですが、下記の内容についてご理解いただき、職員の皆様に、ご参加をお願い申し上げます。

記

１．研究課題

本研究は、「エイジング・イン・プレイスを実現する地域密着型事業所拠点の看取り支援体制の構築」を課題名とする文部科学省科学究費助成金による基盤研究（C）研究課題番号21K10996（研究代表者　永田千鶴）の一環で実施いたします。

２．地域密着型サービスにおける看取りの学習会実施概要

　「看取りの学習会」の目的は、学び得た内容を地域密着型サービスでの看取りの実践にいかしていただくことです。この学習会は、受講に伴う費用はいただきませんが、文部科学省の研究助成を受けて行うために、研究的な要素を含む必要があります。

そのため、「看取りの学習会」の前後で知識や、自信、考え方、職務満足度などがどのように変化するかということのアンケート調査、グループディスカッションの内容分析をいたします。アンケートは無記名で、ID番号を付し匿名性が確保された状態ですので、ご心配なくありのままをご回答いただきたいと思います。グループでディスカッションの内容は録音させていただきます。お申込みいただきました方に、本研究の書面での説明文書とアンケート用紙を郵送させていただきます。説明文書をお読みいただいて、最終的な研修への参加をお決めください。研修への参加を同意されましたら、署名していただき、事前のアンケート調査とともにご返送いただきます。この研究の実施にあたっては、山口大学の「倫理審査委員会」の承認を得ております。

研修への参加は全く自由であり、申し込み後の参加の撤回や、参加しないことで何ら不利益は生じません。研究において、参加者や事業所に関わる個人情報の秘密は厳守されます。

　2023年度は、2回シリーズの研修を予定しており、原則2回ともご参加いただきたいと思います。

　以上のような研究目的と内容を検討され、地域密着型事業所の職員の皆様にご参加いただける場合には、準備の都合上、同封いたしました研修参加申込書を7**月15日**までにFAXまたはメールでお申し込みください。職員の皆様にお声をかけていただき、お申込みいただけましたら幸いです。

なお、本研究に関する質問などございましたら、研修実施前・後にかかわらず、いつでも下記にご連絡ください。

　時節柄ご自愛いただきますようお祈り申し上げます。

　敬具

　　　研究実施責任者：永田千鶴

　　　　　　　山口大学大学院医学系研究科保健学専攻地域・老年看護学講座教授

　　　　　　　連絡先　TEL/FAX0836-22-2830　Email：nagata@yamaguchi-u.ac.jp

　　 共同研究者：山口大学大学院医学系研究科保健学専攻　　　　田中愛子、清永麻子

熊本保健科学大学保健科学部看護学科　　　松本佳代、澤崎美香

山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター　大野陽子